

# 新幹線プレス

2011年10月28日 No.17

発行者 成田隆浩

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

## 連続する理不尽な出向発令は直ちにやめろ！！

10月14日、東京仕業検査車両所のJR東海労組合員に対して出向事前通知が発令されました。またしても60歳定年を目前にした59歳の東海労組合員に対しての発令です。今年になって6月から既に3名の59歳の組合員が強制的に出向に出されています。この先輩組合員の方々は、40年以上勤め、国鉄からJRという激動の中では国鉄改革に協力し、今日のJR東海の発展に大きく貢献してきた方々です。そういう組合員・社員に対する会社の仕打ちはどういうものなのでしょうか？

新幹線地本は、繰り返される60歳定年直前の出向発令は非常に不自然であり、JR東海労組合員に対する差別扱いであり、JR東海労組合員を職場から放逐することにより労働組合の弱体化を狙ったものであると認識し、今回の出向発令の取り消しを求めて申入れを行いました。

## 会社の議論拒否は認められない！ 嚴重に抗議する！

新幹線地本は、10月19日に「59歳の組合員への出向発令に関する申し入れ」（申7号）を行ない早急な対応を求めました。しかし、10日たっても回答がないため申し入れの取り扱いについて確認の電話を入れました。しかし、会社は議論の途中で一方的に電話を切るという暴挙に出ました。新幹線地本は、このような会社の組合軽視で理不尽な行為に対して、嚴重に抗議しました。

組合：申7号についての取り扱いはどうなっているのか。

会社：検討中である。

組合：申7号の5項（今回の出向発令を取り消すこと）についてはどうか。

会社：検討中としかいえない。

組合：検討中ということは発令については一旦凍結するということか。

会社：人事については話しできない。

組合：このままいくと4日後には赴任日となる。答えられないなら発令を停止しろ。

会社：個別の人事の話はしない。扱いについては検討中。

組合：組合員の生活、人生設計にかかわることだ！

会社：・・・ 【ガチャッ！（一方的に電話を切る）】

会社はこのように、出向という人生設計に関わる重大な事前通知を発令しながら組合との議論を拒否しました。全組合員・全社員の皆さん！このような会社の対応を許せますか。JR東海労新幹線地本は、会社の誠意のない行為を許すことなく理不尽な出向を撤回させる取り組みを含め、会社の姿勢を正すため職場から声を出し闘いを進めていきます。